

青山学院大学の講座運営を今年も支援します

平成23年4月4日

財団法人日本不動産研究所

青山学院大学では、平成22年4月より、総合文化政策学部に設けられた「都市・国際文化コース」の「エリア文化論(担当：井口典夫教授)」の新講座をスタートさせ、当研究所が講座運営のお手伝いを行ってきましたが、今年度も継続して支援することになりました。

青山学院大学のエリア文化論は、「エリア情報を得て、プロジェクトを立案し、それを実現させることができる人材を育成する」ことを目指しており、卒業後の進路として不動産や金融分野などを志望する学生を想定し、第一戦で活躍する実務家をゲスト講師として招き、その知見に学生が直接触れることができる機会を提供することをコンセプトとしております。

昨年は、総合文化政策学部の2年生・3年生(最上級生)から同講座を選択した79名の学生を対象に講義を行いました。前期は、プロジェクトの立案・実施に必要となる都市計画・プロジェクト評価、不動産金融・不動産マーケティング・景観デザイン・空間デザイン等に関する基礎的な講座が中心で、後期は、東京ミッドタウンや六本木ヒルズなどの実際のプロジェクトについての事例研究や現地視察を通じてより実践的な講座が中心でした。

学生からは、「実務的な講義と視察を中心とする内容で、教室では体験できないことが多く、楽しく、かつ役に立つ授業」と大変好評だったことから、今年度も継続することになったものです。

内容的には、昨年度とほぼ同じ趣旨ですが、より実務的な講座が多くなったことと、アート・リバブリックが前期・後期合計6回分の運営支援を担当しております。

当研究所としては、公益法人でもあり、昨年度と同様、今後もこのようなアカデミックな活動にも、講師派遣も含めて積極的に協力していきたいと考えています。

平成23年度 エリア文化論 シラバス

	講義日程	講義テーマ	講 師（ゲストスピーカー）
前 期	4月12日	1 ガイダンスと総論	井口典夫教授
	4月19日	2 都市開発(1)（事業開発手法）	福本泰（日本不動産研究所）
	4月26日	3 都市開発(2)（計画推進プロセス）	山口信逸（清水建設）
	5月10日	4 脈動するアジアーション	Art Re-Public
	5月17日	5 サバービアン文化思考(グローバル)	Art Re-Public
	5月24日	6 ソーシャルインクルーシブな場の創造	Art Re-Public
	5月31日	7 都市開発(3)（生物多様性・環境）	岩本和明（清水建設）
	6月7日	8 渋谷駅周辺開発 ヒカリエの視察	岩井卓也（東京急行電鉄）
	6月14日	9 都市開発(5)（都市開発ファイナンス）	草野晋（日本政策投資銀行）
	6月21日	10 環境・都市デザイン	杉浦榮（エス・ツー・デザインアンドプランニング）
	6月28日	11 空間デザイン(1)（色彩）	杉山朗子（日本カラーデザイン研究所）
	7月5日	12 空間デザイン(2)（音響）	霜田英麿（音響計画）
	7月12日	13 空間デザイン(3)（照明）	内木宏志（ナイキデザイン事務所）
	7月19日	14 前期まとめ	井口典夫教授

	講義日程	講義テーマ	講 師（ゲストスピーカー）
後 期	9月27日	1 総論	井口典夫教授
	10月4日	2 作る・繋げる・見せることの境界の曖昧化	Art Re-Public
	10月11日	3 エリアから見える新しいメディアの可能性	Art Re-Public
	10月18日	4 神話を生むマンハッタンヘンジ的現象	Art Re-Public
	10月25日	5 コマーシャルとまちづくり	田嶋直子（博報堂プロダクツ）
	11月1日	6 まちをマーケティングする	福田博（縄文文化コミュニケーション）
	11月8日	7 渋谷・青山のまちづくり	浜野安宏（浜野総合研究所）
	11月15日	8 原宿のまちづくり	久世義昭（久世産業）
	11月22日	9 ターミナル駅開発	平野邦彦（東日本旅客鉄道）
	11月29日	10 大手町・丸の内・有楽町開発	谷澤淳一（三菱地所）
	12月6日	11 不動産プロジェクト・開発事例（視察）六本木ヒルズ	藤巻慎一（森ビル）
	12月13日	12 不動産プロジェクト・事業評価	山下誠之（日本不動産研究所）
	12月20日	13 不動産プロジェクト・開発事例（視察）東京ミッドタウン	山本隆志（三井不動産）
	1月10日	14 後期まとめ	井口典夫教授